



地域へ感謝の気持ちを込めて

平泉長島野球スポ少がごみ拾い

平泉長島野球スポーツ少年団(千葉国彦会長)が、12月6日に地域貢献活動の一環として、清掃活動を実施しました。選手15人と保護者らが参加し、日頃から練習で使用している長島小学校から長島球場までの道端や駐車場周辺のごみを拾い集めました。

道路にごみはほとんどありませんでしたが、参加者は今年も活動を支えてくれた地域に感謝の気持ちを込め、丁寧に見回りながらごみ拾い活動をしました。



教育文化向上に貢献

岩淵良久さんが全日本PTA会長表彰

11月27日に開催された全日本PTA年次表彰式で岩淵良久さん(21区)が会長表彰を受賞しました。小・中学校PTA会長や県PTA副会長など長年の活動を通して、児童・生徒の健全育成と教育文化の向上に努めた功績により表彰されました。

岩淵さんは、12月6日に岩淵教育長を訪問して受賞を報告し「10年間活動を支えてくれたPTAの皆さんと家族の協力に感謝し、今後も学校や地域と一緒に子どもたちを見守りたい」と話していました。



地域の食生活改善に貢献

浅利徳子さんが県協議会会長表彰

平泉町食生活改善推進協議会会長の浅利徳子さん(21区)が、長年にわたり地域の食生活改善の推進に尽力された功績が認められ、県食生活改善推進委員協議会会長表彰を受賞されました。浅利さんは、平成13年に町推進協議会に入会し理事や副会長を歴任され、平成31年から会長を務めています。

浅利さんは「受賞は皆さんの協力で活動を続けることができたおかげ。これからも地域の健康増進の発展に努めていきたい」と話していました。



新たな施設への要望を

第1回社会教育施設ワークショップ

令和4年7月に開館予定の社会教育施設整備に係る第1回ワークショップを12月6日に役場で開催しました。

ワークショップでは、町内の芸術文化団体など利用が見込まれる団体関係者ら18人が参加。施設の設計を担当する久慈設計(盛岡市)より内装や各室の説明を受けました。

参加者からは、子育て支援スペースに安全な材質を求める要望などが出され、次回1月に開催予定のワークショップで、改めて施設各室について意見が聴取されます。

歴史に思いをはせながら奉納

第14回骨寺村莊園中尊寺米納め

かつて中尊寺の別当領だった一関市本寺地区とのつながりを深めようと、骨寺村中尊寺米納めが12月13日に行われました。

本年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者を限定し、同地区で収穫された新米や特産の南部一郎カボチャなどを参加者が手分けして担ぎ、駒形根神社から行列が出発しました。

参加者は役場で出迎え式を行った後、歴史に思いをはせながら中尊寺の月見坂を上り本堂へ米などを奉納しました。



世界農業遺産認定に向けて

東稲山麓地域3市町の意見交換会

12月6日、世界農業遺産認定を目指す東稲山麓地域の中山間組織から約80人が参加し「東稲山麓地域3市町中山間組織活動交流会」が一関市舞川市民センターで開催されました。

交流会では、獣害対策や後継者育成など共通課題について、自治体の枠組みを超え、解決の糸口を探る意見交換が行われました。

町からは14区営農環境保全会の真篋光幸さんが、耕作放棄地の開墾作業の課題を挙げながら組織の活動を紹介しました。



地域の消防活動に役立つ

消防ポンプ車の引き渡し式

12月18日、現在の車両が老朽化したことにより車両更新のため、町から消防団へ消防ポンプ車の引き渡しを保健センター前で行いました。千葉勇夫消防団長へ車両を引き渡した青木町長は「日々の活動に感謝するとともに、自身の安全を確保しながら、地域の安全も守ってほしい」とあいさつ。

車両を管理・使用する高橋幸夫第三分団長は「地域とともに防災意識を高めながら大切にに使わせていただく」と決意を述べていました。



「おもしろ賞」を受賞

ふるさとCM大賞 in IWATE 2020

県内31市町村が郷土愛とアイデアで手作りの「ふるさとCM」をアピールする「ふるさとCM大賞 in IWATE2020」(岩手朝日テレビ主催)の審査会が11月28日に行われました。

当町は作品名「もち?じねんじょ」で参加し、「思わず笑ってしまう、ユーモアにあふれる作品」と審査員の好評を得て、特別賞の一つ「おもしろ賞」を昨年に続き受賞しました。

12月3日、受賞したCMが今後1年間で50回放送される目録と賞状が授与されました。